



中央日本総合観光機構が会員総会を開催

中部・北陸9県の官民が連携して観光地経営に取り組む広域連携DMO「(一社)中央日本総合観光機構」(会長:豊田中経連会長)は、6月28日(金)、富山市内にて会員総会を開催し、会員約90名が出席した。総会の概要は以下のとおり。

みくりが池(富山県)

1 開会挨拶

久和副会長(北経連会長)が、新事務局長をはじめとする機構の新体制に期待を寄せるとともに、会員に対し、「今後控える世界的なスポーツイベントに向け、『楽しく・気持ちよく・より多く消費してもらう』ことを目標とし、連携を強化して取り組んでいくことが大切」と呼び掛けた。



写真は石井富山県知事による来賓挨拶の様子

2 総会

今年4月から新事務局長に就任したおぎの みつたか荻野光貴氏が、昨年度の取り組み、長期計画の方向性などを報告した。

長期計画のミッションには、「日本の真ん中で世界をつなぐ」を掲げた。これは、関係者からの意見、中部・北陸エリアの特性、インバウンドを中心とした取り組みの必要性を踏まえて構想したものである。中部・北陸地域の魅力を世界へ伝えるためには

ミッション「日本の真ん中で世界をつなぐ」



「つながり」「高め合う」をキーワードに、自らの地域に誇りを持ちつつ、相手の地域を尊重することで、地域間の垣根を越えた施策を進め、その時代のニーズにあわせたより効果的な観光プロモーションを展開していけるよう検討していく。



【荻野氏のプロフィール】

- 1972年 新潟県妙高市生まれ
- 1991年 ニュージージーランドで温泉リゾートを開発
- 1993年 実家の温泉旅館を経営
- 2016年 ツーリズムとよたの立ち上げ、発足とともに事務局長に就任
- 2019年 (一社)中央日本総合観光機構事務局長に就任

加えて、今年度の事業計画として、豪州の旅行会社の招聘、米国で開催される商談会への参加などが承認された。

中央日本総合観光機構は、ミッションとビジョン・戦略を関係者と共有し、そこから導かれる長期計画・アクションプランにもとづく効果的な事業の実施・検証・情報共有と組織強化を図っていきます。そして、中部・北陸地域の観光振興の舵取り役として期待される広域連携DMOが担うべき機能と役割を果たしていけるよう努力してまいります。

【中央日本総合観光機構への入会申込・問い合わせ先】

(一社)中央日本総合観光機構事務局 所在地:名古屋市名東区名駅4-2-28 名古屋第二埼玉ビル4階
TEL:052(602)6651 FAX:052(756)2727 URL:https://www.go-centraljapan.jp/ja/